

第1章 平成25年度の事業報告(概要)

1) 臨床研修病院の研修プログラムに関する評価事業

臨床研修病院において社会の要請に応える適切な研修プログラムが作成され、プログラムとおりに研修が実施されているかを評価し、認定を行う。

申請数(累計)	H23年度	H24年度	H25年度
新規 受審 申請数	151	168	192
更新 受審(訪問調査) 申請数	72	97	129
更新 受審(書面調査) 申請数	50	79	109

訪問調査 実施数(累計)	H23年度	H24年度	H25年度
(1)新規 訪問調査 実施数	133	149	170
(2)更新 訪問調査 実施数	63	91	123
(3)再調査 実施数	6	8	8
(4)補充調査 実施数	1	1	1

認定証発行数(累計)	H23年度	H24年度	H25年度
新規 認定証 発行数	124	143	166
更新 認定証 発行数	58	85	121

2) 臨床研修病院の研修プログラムに関する人材育成事業

臨床研修評価に必要な評価者(サーベイヤー)を養成する

サーベイヤー養成状況

- (1) サーベイヤー講習会の開催回数：1回
- (2) サーベイヤー講習会の受講者数：56名
- (3) サーベイヤー登録数：54名
- (4) 訪問調査(53調査)におけるサーベイヤーの稼働状況
 サーベイヤー出勤数：延数234人(サーベイ担当159人、オブザーバー16人、OJT59人)
 ※ OJT：On the Job Training

3) 臨床研修病院の研修プログラムに関する研究開発事業

臨床研修病院において必要とされるものは何か、臨床研修病院のあり方について研究開発し質の高い臨床研修の実現を支援する。

- ・改訂版October2013として完成させた。
- ・サーベイヤーによる評価項目等の研究会として、本年度は「臨床研修病院施設・設備について」、「臨床研修病院の研修のプロセスについて」、「臨床研修病院のQIについて」について研究した。

4) 卒後臨床研修に関する情報収集及び情報提供事業

卒後臨床研修に関する情報の収集や評価に関する研究結果の公開などをホームページや資料等で行う。

メールマガジンとホームページ上にて評価機構の活動状況等を案内している。

今年度はホームページの見直しを行い、より多くの情報を公開した。

今年度も書面調査October2013(臨床研修調査票、自己評価調査票《評価項目》)を全公開した。

また、今年度は「研修医手帳」を作成した。

卒後臨床研修に関する情報収集と提供については、今後当評価機構に期待される事業として組み込まれたものであるため、日本および海外の卒後臨床研修の現状の把握と質向上に向けて実践されることが期待される。

5) その他の事業

(1)厚生労働省の協力要請により、サーベイヤーの派遣(平成25年7月～8月)を行った。

厚生局 (病院数)	協力サーベイヤー	厚生局 (病院数)	協力サーベイヤー
北海道 (3)	石松 伸一、谷口 弘毅、藤 信明	東海北陸 (7)	渡邊 直、中村 利仁、河本 慶子、小林 茂昭、 草田 典子、稲澤 正士、石原 慎
東北 (1)	竹内 一仁	四国中国 (7)	松尾 理、本多 英喜、稲澤 正士、有賀 徹、 本田 幹彦、今西 康次、藤 信明
関東信越 (1)	伊藤 俊之	九州 (4)	石松 伸一、菊川 誠、山口 丈夫、真栄城 優夫

(敬称略)